

座頭谷・船坂から 金仙寺湖丸山ダムを訪ねる

第 115 回 武庫川エコハイク

2016. 12. 10. エコグループ武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川渓谷で V 字谷になる一風変わった川である。この渓谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊するすることで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、22 年 10 月、ダムは検討に時間がかかることから、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

太多田川(おたがわ) 有馬街道が川筋を通り、交通の難所で「四十八ヶ瀬」とか「四十八飛び」といわれていた。「うたたび(転び)川」から「太多田川」となったともいわれる。船坂集落を源流として全長約 5km。

有馬街道 尼崎神崎から小浜宿、生瀬宿を経て太多田川沿いに有馬温泉に至る古道。豊臣秀吉が何度か通ったことで知られる。

有馬高槻構造線 有馬から太多田川沿い、宝塚市、池田市の山麓を走り、高槻市に至る大きな活断層、阪神淡路大震災では動かなかった。この断層を境に南側は六甲花崗岩層、北側は有馬層群である。

有馬層群と花崗岩 見られる所は、武庫川渓谷兩岸、有馬付近の山地。年代は、中世代白亜紀(7200 万年～7500 万年前)。地層の特徴: 激しい火山の活動によって噴出した流紋岩(りゅうもんがん)質の火山灰や火砕流(かさいりゅう)、溶岩が固まって出来た地層や火山岩である。火山灰が固まった凝灰岩(ぎょうかいがん)、周りの岩石をとりこんで固まった凝灰角レキ岩、火山から噴き出した岩石と高温のガスが一緒になって地表を高速で流れ出す火砕流が固まった溶結凝灰岩など色々な岩石で出来ている。マグマが地表で固まった溶岩は火山岩(流紋岩)と呼ばれ、地層とはいえない。丹生山地は火山岩で出来ているが、隆起したのはもともと新しい時代で火山とはいえない。当時、神戸付近だけでなく西日本全体が激しい火山活動があったことが分かっている。地表に噴出して固まったのが有馬層群であるが、マグマが地下でそのまま固まったのが六甲山地をつくっている花崗岩である(神戸の大地のなりたちと自然の歴史より)。

座頭谷 太多田川最大の支流、延長約 1.8km。昔、有馬に向かっていた座頭が有馬街道で分岐道を誤り荒地の谷に迷い込んで遭難したことから「座頭谷」といわれる。座頭谷には 20 を超す砂防堰堤がある。

蓬莱峡温泉跡 現在尼崎信用金庫保養所。昭和 15(1940)年～25(1950)年蓬莱峡温泉(冷泉・炭酸泉)があった。

知るべ岩 「知るべ岩バス停」を 20m 進んだところ、太多田川と座頭谷との分岐にある古い道標「みぎありま道」と刻まれている。岩の上にはしるべ岩と名付けられた由来を刻んだ碑がある。

蓬莱峡 花崗岩の破碎帯が風化浸食されて、大剣、小剣などむき出しになった花崗岩の奇岩がある景勝地。旧山口村長が朝鮮海金剛の景勝地蓬莱山に似るとして命名したという。

六甲砂防第 1 号 明治 25(1892)年の大水害を契機に水源涵養、改修、砂防堰堤などの工事が兵庫県良元砂防工営所を中心に砂防工事が進められ、昭和 13(1938)年の大水害でも無傷だったことから国営六甲砂防工事事務所が設立され引き継がれた。

鎧積堰堤 知るべ岩の大きな砂防堰堤は「鎧積堰堤」で落水が直接目地に当てない構造になっている。

六甲みつばちハニー農場跡 六甲山麓の豊かな自然の中の山々の花、アカシア、マンサク、キブシ、ハギなど、その季節にとれる蜜を集めて生産していた養蜂場跡。

船坂 船坂川の中流に位置するこの地区は、建久 2(1191)年仁西上人が有馬温泉を開かれたとき湯船の供給を求めてことからといわれている。もともと六甲山の北側を流下する船坂谷は風化した花崗岩のせいでこの地区をたびたび洪水が襲い谷底平野を形成した。標高が 400m あり、寒冷地のため明治時代から寒天づくりが行われ、平成 10 年まで続いた。

善照寺 寛正 2(1461)年釈善相によって創設された。当初浄土宗だったが蓮如上人来錫の折浄土真宗になった。本尊の阿弥陀如来立像は金銅仏で黄金仏といわれ、盗人に狙われるが持ち出せず、泥棒除けの本尊として信心を集めた。片足が浮き「浮足の如来さん」といわれる。

西宮市立船坂小学校 明治 6(1873)年に開校した船坂小学校は市内でも 2 番目に古い小学校でしたが、平成 14(2002)年に廃校となり山口小学校に合併した。

山王神社 天昇年間(1578 年ごろ)、別所長治の祈願所であったため兵火で焼失した。大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこなのみこと)、猿田彦命が祀られている。船坂谷や石の宝殿の巨石を祀るという。

白水川 京の姫白滝姫が田舎に輿入れするにあたり、この辺りでさめざめと泣いたので白い水が流れたという伝承がある。今は六甲花崗岩が風化しむき出しになりモトクロスに荒らされている。金仙寺湖の上流で船坂川に合流している。

金仙寺湖(丸山ダム) 西宮市北部の上水用ダム。昭和 52(1979)年にオープン。最大貯水量 205 万トン。現在北部は県営水道(一庫ダム)で 87%が賄われている。

金仙寺観音堂 金仙寺は戦国時代にこの地区を支配していた山口氏の菩提寺だったという。現在は無人の寺観音堂がある。

丸山稲荷神社(山口城址) 多田源氏の一族山口氏の居城がありその鎮守として祀られていたがその後絶え天保 11(1840)年地元講により再建された。平成 7 年阪神大震災により神社は大破したので平成 10 年山麓に移築され、旧社は奥社となった。

丸山浄水場 奥社から北参道を下ると丸山浄水場がある。県水道の不足分をこの浄水場で処理している。